

VII 観光動態調査ルート分析

1. はじめに

- 報告書について

この報告書は平成30年度に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した（P144：2.立寄市町村割合）。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した（P152：3.周遊ルート分析）ものである。

- 調査地点について

高知県内の観光地（10地点：室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬）でアンケート調査を実施している。

- 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。
各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北 : 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東 : 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟 : 新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海 : 山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿 : 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外 : すべての海外旅行者

2. 立寄市町村割合

● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した(する予定の)観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ(%表記)は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。
そのため、合計が100%にならない場合がある。
 - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

● 調査結果の概要

立寄観光地の延べ件数（P146-147）は、8,608件となり、前年度の8,768件から1.8ポイントの減少となっている。県内16地域の立寄数は、「高知」が35.1%と最も多く、次いで「南国・香美」が13.3%、「黒潮・四万十市」が9.3%、「東洋・室戸」が8.6%、「土佐清水・大月」が8.2%と続いている。この上位5地域で全体の74.5%を占めている。

発地ブロック別（P146-147）をみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっているが、2番目に多い地域は、北陸・新潟が「黒潮・四万十市」と「土佐清水・大月」、北海道・東北、甲信・東海、九州・沖縄などが「黒潮・四万十市」、その他のブロックが「南国・香美」と、発地ブロックにより傾向が分かれた。平均立寄数は、北海道・東北が3.3件と最も多く、四国が1.7件と最も少なくなっている。

年代別（P148）をみると、すべての年代で「高知」が最も多くなっており、若い年代ほど集中度が高くなっている。また、10代から40代は「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、40代が2.3件と最も多く、10代が1.9件と最も少なくなっている。

旅行形態別（P149）をみると、すべての旅行形態で「高知」が最も多くなっている。次いで、「一人」は「東洋・室戸」が、そのほかの旅行形態は「南国・香美」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、「団体」が2.4件と最も多く、「一人」が2.0件と最も少なくなっている。

旅行目的別（P150）をみると、「買い物」で「黒潮・四万十市」、「神仏霊場」で「土佐清水・大月」、そのほかの旅行目的で「高知」が最も多くなっている。平均立寄数は、「名所旧跡」、「自然見物」、「食べ物」が2.4件と最も多く、「買い物」が1.5件と最も少なくなっている。

2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [発地ブロック別]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
北海道・東北 (n=37)	9	1	4	1	11		60	1		1				2	16	14	121	1.4	3.3
関東 (n=345)	55	40	4	7	101	1	576	32	2	5	28	11	4	99	3	72	1,040	12.1	3.0
北陸・新潟 (n=20)	6				3	2	25							1	9	1	56	0.7	2.8
甲信・東海 (n=123)	22	9	2	4	32	2	180	5		1	4	4	6	41	4	36	352	4.1	2.9
近畿 (n=710)	155	81	15	42	217	4	904	56	1	11	66	14	40	170	16	196	1,988	23.1	2.8
中国 (n=318)	52	46	4	10	103	1	325	24		1	38	6	11	57	7	82	767	8.9	2.4
四国 (n=2,338)	427	418	38	91	648	6	793	382		9	410	9	86	373	28	267	3,985	46.3	1.7
九州・沖縄 (n=103)	16	9	1	1	24		145	6			5	2	5	34	4	32	284	3.3	2.8
海外 (n=6)		1			2		10							1		1	15	0.2	2.5
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2

(表 2-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [発地ブロック別]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16				
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月				
北海道・東北 (n=37)	7.4	0.8	3.3	0.8	9.1		49.8	0.8		0.8				1.7	13.2	0.8	11.6			
関東 (n=345)	5.3	3.8	0.4	0.7	9.7	0.1	55.4	3.1	0.2	0.5	2.7	1.1	0.4	9.5	0.3	6.9				
北陸・新潟 (n=20)	10.7				5.4	3.6	44.6						1.8	16.1	1.8	16.1				
甲信・東海 (n=123)	6.3	2.6	0.6	1.1	9.1	0.6	51.1	1.4		0.3	1.1	1.1	1.7	11.6	1.1	10.2				
近畿 (n=710)	7.8	4.1	0.8	2.1	10.9	0.2	45.5	2.8	0.1	0.6	3.3	0.7	2.0	8.6	0.8	9.9				
中国 (n=318)	6.8	6.0	0.5	1.3	13.4	0.1	42.4	3.1		0.1	5.0	0.8	1.4	7.4	0.9	10.7				
四国 (n=2,338)	10.7	10.5	1.0	2.3	16.3	0.2	19.9	9.6		0.2	10.3	0.2	2.2	9.4	0.7	6.7				
九州・沖縄 (n=103)	5.6	3.2	0.4	0.4	8.5		51.1	2.1			1.8	0.7	1.8	12.0	1.4	11.3				
海外 (n=6)		6.7			13.3		66.7							6.7		6.7				
全体 (n=4,000)	8.6	7.0	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9	0.0	0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2				

※ 白抜き はブロックで1位、太字 は同2位

(表 2-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=187)	21.3	12.9	1.5	1.5	16.1		27.5	2.0			5.7	0.5	0.7	4.2	0.2	5.9
香川県 (n=336)	7.9	11.4	1.1	3.2	17.2	0.3	33.4	3.9		0.1	5.9	0.1	1.7	5.9	0.8	6.9
愛媛県 (n=472)	7.7	7.7	0.6	2.5	15.7	0.1	24.1	9.5		0.2	7.5	0.4	2.2	10.5	1.3	10.1
高知県 (n=1,343)	11.1	11.1	0.9	2.0	16.3	0.2	11.2	13.3		0.3	14.3	0.1	2.6	11.2	0.4	5.1
四国 (n=2,338)	10.7	10.5	1.0	2.3	16.3	0.2	19.9	9.6		0.2	10.3	0.2	2.2	9.4	0.7	6.7

・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で8,608件となっている。発地ブロック別にみると、“四国”が3,985件(46.3%)と最も多く、次いで、“近畿”が1,988件(23.1%)、“関東”が1,040件(12.1%)、“中国”が767件(8.9%)と続いている。

平均立寄数は、“北海道・東北”が3.3件と最も多く、次いで、“関東”が3.0件、“甲信・東海”が2.9件と続いており、“四国”が1.7件と最も少なくなっている。

・上位を占めた立寄市町村

立寄った観光地の市町村をみると、「高知」が3,018件(35.1%)と最も多く、次いで「南国・香美」が1,141件(13.3%)、「黒潮・四万十市」が800件(9.3%)、「東洋・室戸」が742件(8.6%)、「土佐清水・大月」が709件(8.2%)と続いている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄った観光地の市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“北陸・新潟”が「黒潮・四万十市」と「土佐清水・大月」、「北海道・東北」、「甲信・東海」、「九州・沖縄」が「黒潮・四万十市」、その他の発地ブロックが「南国・香美」となっている。

なお、“県内旅行者”は「南国・香美」、「須崎・中土佐」、「いの」、「高知」、「黒潮・四万十市」などが多くなっている(P146:表2-3)。

2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-4) 年代別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=44)	6	4	3	2	11		35	2			7			8	1	6	85	1.0	1.9
20代 (n=530)	70	50	7	23	198	3	456	42		5	66	13	19	94	3	78	1,127	13.1	2.1
30代 (n=829)	112	92	12	30	357	4	709	104	2	7	88	10	18	136	6	108	1,795	20.9	2.2
40代 (n=875)	158	124	14	46	242	3	751	102		6	112	6	39	179	15	180	1,977	23.0	2.3
50代 (n=865)	192	136	18	29	181	2	687	124	1	7	133	7	30	188	14	165	1,914	22.2	2.2
60代以上 (n=857)	204	199	14	26	152	4	380	132		3	145	10	49	195	25	172	1,710	19.9	2.0
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2

(表 2-5) 年代別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=44)	7.1	4.7	3.5	2.4	12.9		41.2	2.4			8.2			9.4	1.2	7.1			
20代 (n=530)	6.2	4.4	0.6	2.0	17.6	0.3	40.5	3.7		0.4	5.9	1.2	1.7	8.3	0.3	6.9			
30代 (n=829)	6.2	5.1	0.7	1.7	19.9	0.2	39.5	5.8	0.1	0.4	4.9	0.6	1.0	7.6	0.3	6.0			
40代 (n=875)	8.0	6.3	0.7	2.3	12.2	0.2	38.0	5.2		0.3	5.7	0.3	2.0	9.1	0.8	9.1			
50代 (n=865)	10.0	7.1	0.9	1.5	9.5	0.1	35.9	6.5	0.1	0.4	6.9	0.4	1.6	9.8	0.7	8.6			
60代以上 (n=857)	11.9	11.6	0.8	1.5	8.9	0.2	22.2	7.7		0.2	8.5	0.6	2.9	11.4	1.5	10.1			
全体 (n=4,000)	8.6	7.0	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9	0.0	0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2			

※ **白抜き** は年代で 1 位、**太字** は同 2 位

・立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、40代が1,977件(23.0%)と最も多く、次いで、50代が1,914件(22.2%)、30代が1,795件(20.9%)、60代以上が1,710件(19.9%)、20代が1,127件(13.1%)、10代が85件(1.0%)と続いている。

平均立寄数は、40代が2.3件と最も多く、次いで30代と50代が2.2件、20代が2.1件、60代以上が2.0件、10代が1.9件と続いている。

・年代ごとの立寄市町村の傾向

すべての年代で「高知」が最も多く、年代が低くなるにつれて、占める割合が多くなっている。次いで、10代から40代までは「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が多くなっている。

- 10代:「安芸・芸西」、「香南」、「高知」で年代別の1位となっている。
- 20代:「梶原・津野」などで年代別の1位、「高知」と「南国・香美」で年代別の2位となっている。
- 30代:「南国・香美」で年代別の1位となっている。
- 40代:「香南」、「土佐清水・大月」などで年代別の2位となっている。
- 50代:「東洋・室戸」、「いの」などで年代別の2位となっている。
- 60代以上:「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などで年代別の1位となっている。

2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-6)旅行形態別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,674)	474	431	42	116	880	8	1,988	330	1	17	350	23	102	526	41	470	5,799	67.4	2.2
友人・知人 (n=627)	102	88	15	17	154	1	592	61	1	8	104	12	21	126	7	96	1,405	16.3	2.2
団体 (n=38)	4	10	1		13		56	2			1			3		2	92	1.1	2.4
その他 (n=51)	4	5		3	19		44	8	1		10			6	1	5	106	1.2	2.1
一人 (n=610)	158	71	10	20	75	7	338	105		3	86	11	32	139	15	136	1,206	14.0	2.0
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2

(表 2-7)旅行形態別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,674)	8.2	7.4	0.7	2.0	15.2	0.1	34.3	5.7		0.3	6.0	0.4	1.8	9.1	0.7	8.1			
友人・知人 (n=627)	7.3	6.3	1.1	1.2	11.0	0.1	42.1	4.3	0.1	0.6	7.4	0.9	1.5	9.0	0.5	6.8			
団体 (n=38)	4.3	10.9	1.1		14.1		60.9	2.2			1.1			3.3		2.2			
その他 (n=51)	3.8	4.7		2.8	17.9		41.5	7.5	0.9		9.4			5.7	0.9	4.7			
一人 (n=610)	13.1	5.9	0.8	1.7	6.2	0.6	28.0	8.7		0.2	7.1	0.9	2.7	11.5	1.2	11.3			
全体 (n=4,000)	8.6	7.0	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9		0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2			

※ 白抜き は旅行形態で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、“家族”が5,799件(67.4%)と最も多く、次いで、“友人・知人”が1,405件(16.3%)、“一人”が1,206件(14.0%)、“その他”が106件(1.2%)、“団体”が92件(1.1%)と続いている。

平均立寄数は、“団体”が2.4件と最も多く、次いで、“家族”と“友人・知人”が2.2件、“その他”が2.1件、“一人”が2.0件と続いている。

・旅行形態ごとの立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多く、次いで、“一人”が「東洋・室戸」、そのほかの旅行形態が「南国・香美」と続いている。

- 家族:「香南」、「奈半利・田野等」、「南国・香美」で全体平均を上回っている。
- 友人・知人:「高知」、「須崎・中土佐」などで全体平均を上回っている一方で、「南国・香美」、「いの」、「土佐清水・大月」、「東洋・室戸」などで全体平均を下回っている。
- 団体:「高知」が半数以上を占めており、立寄市町村が限られている。
- その他:「南国・香美」、「須崎・中土佐」などで旅行形態別の1位となっている。
- 一人:「東洋・室戸」、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」、「いの」などで旅行形態別の1位となっている一方で、「高知」、「南国・香美」などで最も少なくなっている。

2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-8)旅行目的別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=726)	161	279	24	35	156	7	453	97	2	8	38	18	25	172	9	229	1,713	19.9	2.4
休養 (n=198)	34	31		4	37	2	150	22		1	70	2	13	34	2	32	434	5.0	2.2
祭り (n=79)	6	7	2	6	32		36	16			3			7	1	10	126	1.5	1.6
アウトドア (n=107)	27	2	2	4	12	1	42	29		4	14	2	3	37	1	33	213	2.5	2.0
スポーツ (n=11)	1				2		10	1						2		4	20	0.2	1.8
食べ物 (n=624)	67	46	6	13	153		720	60		5	202	4	31	119	2	72	1,500	17.4	2.4
神仏霊場 (n=128)	53	19	1	12	22		34	2	1		10	1	31	6	35	72	299	3.5	2.3
買い物 (n=262)	74	13	2	1	14	1	47	76			62		5	80	1	7	383	4.4	1.5
名所旧跡 (n=863)	141	126	16	47	473	1	980	40		3	35	7	13	103	4	106	2,095	24.3	2.4
なんとなく (n=484)	96	41	6	15	124	3	213	101		1	59	8	15	91	3	79	855	9.9	1.8
観光・その他 (n=41)	8	2	1	1	7	1	22	4		1	4	1		14		8	74	0.9	1.8
帰省・仕事 (n=407)	60	36	6	18	96		258	44		5	48	3	17	124	6	56	777	9.0	1.9
その他 (n=70)	14	3	2		13		53	14			6		2	11		1	119	1.4	1.7
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2

(表 2-9)旅行目的別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=726)	9.4	16.3	1.4	2.0	9.1	0.4	26.4	5.7	0.1	0.5	2.2	1.1	1.5	10.0	0.5	13.4			
休養 (n=198)	7.8	7.1		0.9	8.5	0.5	34.6	5.1		0.2	16.1	0.5	3.0	7.8	0.5	7.4			
祭り (n=79)	4.8	5.6	1.6	4.8	25.4		28.6	12.7			2.4			5.6	0.8	7.9			
アウトドア (n=107)	12.7	0.9	0.9	1.9	5.6	0.5	19.7	13.6		1.9	6.6	0.9	1.4	17.4	0.5	15.5			
スポーツ (n=11)	5.0				10.0		50.0	5.0						10.0		20.0			
食べ物 (n=624)	4.5	3.1	0.4	0.9	10.2		48.0	4.0		0.3	13.5	0.3	2.1	7.9	0.1	4.8			
神仏霊場 (n=128)	17.7	6.4	0.3	4.0	7.4		11.4	0.7	0.3		3.3	0.3	10.4	2.0	11.7	24.1			
買い物 (n=262)	19.3	3.4	0.5	0.3	3.7	0.3	12.3	19.8			16.2		1.3	20.9	0.3	1.8			
名所旧跡 (n=863)	6.7	6.0	0.8	2.2	22.6	0.0	46.8	1.9		0.1	1.7	0.3	0.6	4.9	0.2	5.1			
なんとなく (n=484)	11.2	4.8	0.7	1.8	14.5	0.4	24.9	11.8		0.1	6.9	0.9	1.8	10.6	0.4	9.2			
観光・その他 (n=41)	10.8	2.7	1.4	1.4	9.5	1.4	29.7	5.4		1.4	5.4	1.4		18.9		10.8			
帰省・仕事 (n=407)	7.7	4.6	0.8	2.3	12.4		33.2	5.7		0.6	6.2	0.4	2.2	16.0	0.8	7.2			
その他 (n=70)	11.8	2.5	1.7		10.9		44.5	11.8			5.0		1.7	9.2		0.8			
全体 (n=4,000)	8.6	7.0	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9	0.0	0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2			

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が2,095件(24.3%)と最も多く、次いで、“自然見物”が1,713件(19.9%)、“食べ物”が1,500件(17.4%)、“なんとなく”が855件(9.9%)、“帰省・仕事”が777件(9.0%)と続いている。

平均立寄数は、“名所旧跡”、“自然見物”、“食べ物”が2.4件と最も多く、次いで、“神仏霊場”が2.3件、“休養”が2.2件、“アウトドア”が2.0件と続いている。

・旅行目的ごとの立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」、「買い物」は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。

次いで、“名所旧跡”や“なんとなく”などは「南国・香美」が、自然見物”は「奈半利・田野等」が、“食べ物”と“休養”は「須崎・中土佐」が、“買い物”などは「いの」が、“帰省・仕事”や“アウトドア”などは「黒潮・四万十市」が、“神仏霊場”などは「東洋・室戸」が多くなっている。

- **名所旧跡**：「南国・香美」で旅行目的別の2位となっており、「高知」で全体平均を大きく上回っている。その一方で、「須崎・中土佐」や「黒潮・四万十市」などで全体平均を下回っている。
- **自然見物**：「奈半利・田野等」で旅行目的別の1位となっており、「土佐清水・大月」などで全体平均を上回っている。その一方で、「高知」、「須崎・中土佐」、「南国・香美」などで全体平均を下回っている。
- **食べ物**：「須崎・中土佐」で旅行目的別の2位となっており、「高知」と「須崎・中土佐」で全体平均を大きく上回っている。その一方で、「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」などで全体平均を下回っている。
- **なんとなく**：「いの」や「東洋・室戸」などで全体平均を上回っている一方で、「高知」や「奈半利・田野等」などで全体平均を下回っている。
- **帰省・仕事**：「黒潮・四万十市」などで全体平均を上回っている。
- **買い物**：「いの」、「黒潮・四万十市」、「東洋・室戸」、「須崎・中土佐」で旅行目的別の1位となっている。その一方で、「高知」や「南国・香美」などで全体平均を大きく下回っている。
- **休養**：「須崎・中土佐」や「四万十町」などで旅行目的別の2位となっている。
- **神仏霊場**：「土佐清水・大月」、「宿毛・三原」、「四万十町」などで旅行目的別の1位となっており、「東洋・室戸」で2位となっている。その一方で、「高知」や「黒潮・四万十市」などで全体平均を大きく下回っている。
- **アウトドア**：「佐川・越知等」で旅行目的別の1位、「いの」で2位となっているほか、「黒潮・四万十市」や「土佐清水・大月」で全体平均を大きく上回っている。その一方で、「高知」や「南国・香美」などで全体平均を大きく下回っている。

3. 周遊ルート分析

- 報告内容について

この項目では、平成30年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。
※例 「高知市」 - 「高知市」 - 「東部」の場合、「高知市」 - 「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村
物部川 : 香南市、南国市、香美市
高知市 : 高知市
仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町
嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

● 調査結果の概要

県外旅行者全体の周遊ルート（P154）は、「高知市」のみが16.2%と最も多く、上位4位までを単一エリアで観光を終える周遊ルートが占めている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが多くなっている。

発地別での傾向

- **四国**：「幡多」のみと「東部」のみが多く、「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで最も少ない。（P156-157）
- **近畿**：「高知市」のみ、他エリアと「高知市」を組み合わせた周遊ルートが多くを占めている。（P158-159）
- **中国**：「高知市」と県東部の「物部川」や「東部」を組み合わせた周遊ルートが多く、「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで四国に次いで少ない。（P160-161）
- **関東**：「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで2番目に多い。「幡多」を含む周遊ルートも多い。（P162-163）
- **その他ブロック**：「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで最も多い。「幡多」や「物部川」と「高知市」を組み合わせた周遊ルートも多い。（P164-165）
- **高知県**：「東部」のみが最も多く、単一エリアで観光を終える周遊ルートで9割以上を占めている。（P166-167）

旅行形態別での傾向

- **家族**：単一エリアで観光を終える周遊ルートが大半を占め、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と県東部の「東部」、「物部川」を組み合わせた周遊ルートも少ない。（P168-169）
- **友人・知人**：単一エリアで観光を終えるルートが半分以上を占め、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートも多い。（P170-171）
- **団体**：「高知市」のみが旅行形態別で最も多く、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでも、「高知市」を含む周遊ルートが大半を占めている。（P172-173）
- **一人**：単一エリアで観光を終えるルートが上位6位を占め、特に「幡多」のみ、「東部」のみといった「高知市」以外のエリアが多い。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「幡多」と他エリアを組み合わせた周遊ルートが多い。（P174-175）

3-1. 発地別周遊ルート

3-1-1. 県外旅行者全体

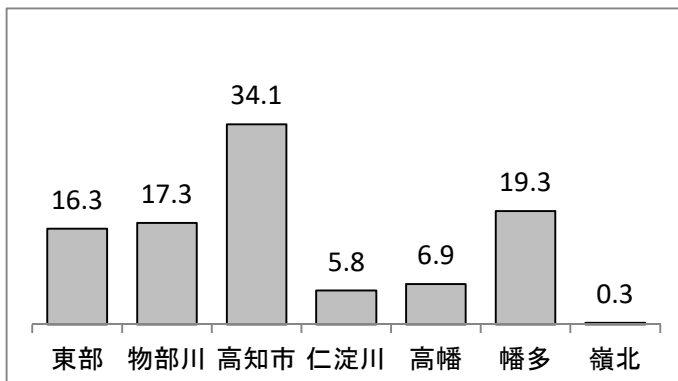
(表 3-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [県外全体]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					430	16.2%
幡多					331	12.5%
東部					220	8.3%
物部川					203	7.6%
物部川	→	高知市			150	5.6%
高知市	→	物部川			136	5.1%
東部	→	高知市			92	3.5%
幡多	→	高知市			83	3.1%
高幡					82	3.1%
高知市	→	東部			80	3.0%

県外旅行者 2,657 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 16.2% と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.5%、「東部」のみが 8.3%、「物部川」のみが 7.6% と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

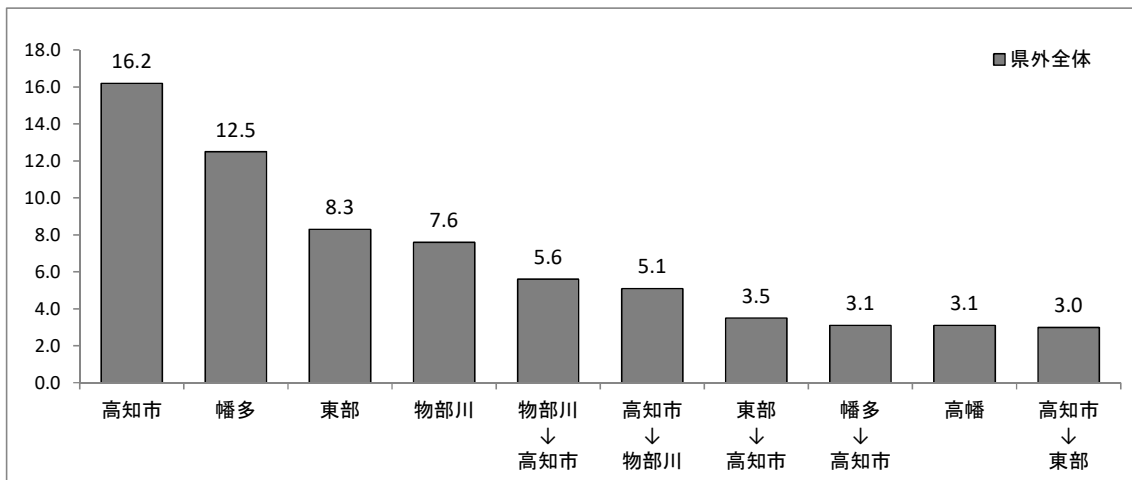
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 5.6% と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 5.1%、「東部→高知市」が 3.5%、「幡多→高知市」が 3.1% と続いており、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが上位を占めている。

(図 3-1) 周遊ルート of 玄関口 (%) [県外全体]



旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が 34.1% と最も多く、次いで「幡多」が 19.3%、「物部川」が 17.3%、「東部」が 16.3%、「高幡」が 6.9%、「仁淀川」が 5.8%、「嶺北」が 0.3% と続いている。

(図 3-2) 周遊ルート上位 10 位 (%) [県外全体]



3-1-2. 四国

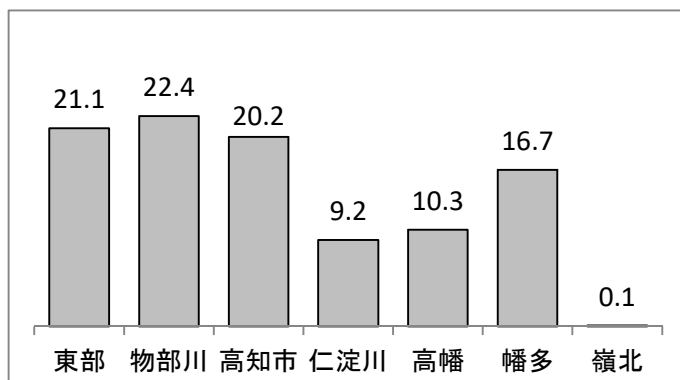
(表 3-2)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [四国 3 県]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
幡多	142	14.3%
東部	141	14.2%
物部川	126	12.7%
高知市	103	10.4%
高幡	58	5.8%
物部川 → 高知市	57	5.7%
仁淀川	43	4.3%
高知市 → 物部川	40	4.0%
東部 → 高知市	30	3.0%
仁淀川 → 高知市	29	2.9%

高知県をのぞく四国 3 県の旅行者 995 組の周遊ルートを見ると、「幡多」のみで観光を終える割合が 14.3%と最も多く、次いで、「東部」のみが 14.2%、「物部川」のみが 12.7%、「高知市」のみが 10.4%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 5 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 5.7%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.0%、「東部→高知市」が 3.0%、「仁淀川→高知市」が 2.9%と続いており、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが多くなっている。

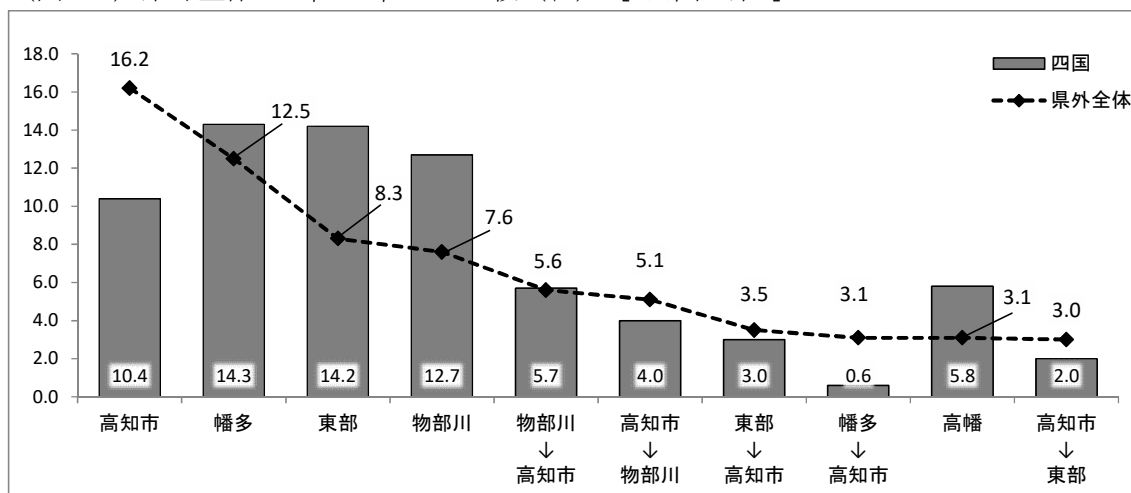
(図 3-3) 周遊ルートの玄関口 (%) [四国 3 県]



旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「物部川」が 22.4%と最も多く、次いで、「東部」が 21.1%、「高知市」が 20.2%、「幡多」が 16.7%、「高幡」が 10.3%、「仁淀川」が 9.2%、「嶺北」が 0.1%と続いている。

なお、「物部川」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-4) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [四国 3 県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている。その一方で、「高知市」のみ、「高知市」からいずれかのエリアに移動する周遊ルート、「幡多→高知市」が少なくなっている。

3-1-3. 近畿

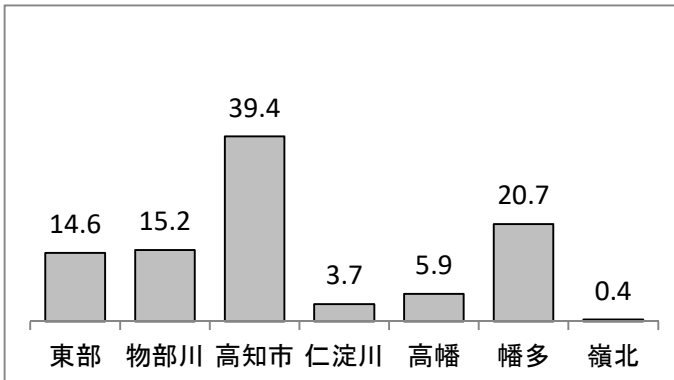
(表 3-3)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [近畿]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	122	17.2%
幡多	86	12.1%
高知市 → 物部川	41	5.8%
物部川 → 高知市	40	5.6%
東部	37	5.2%
物部川	35	4.9%
幡多 → 高知市	29	4.1%
東部 → 高知市	28	3.9%
高知市 → 東部	28	3.9%
高知市 → 幡多	21	3.0%

近畿ブロックの旅行者 710 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 17.2%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.1%、「高知市→物部川」が 5.8%、「物部川→高知市」が 5.6%と続いている。

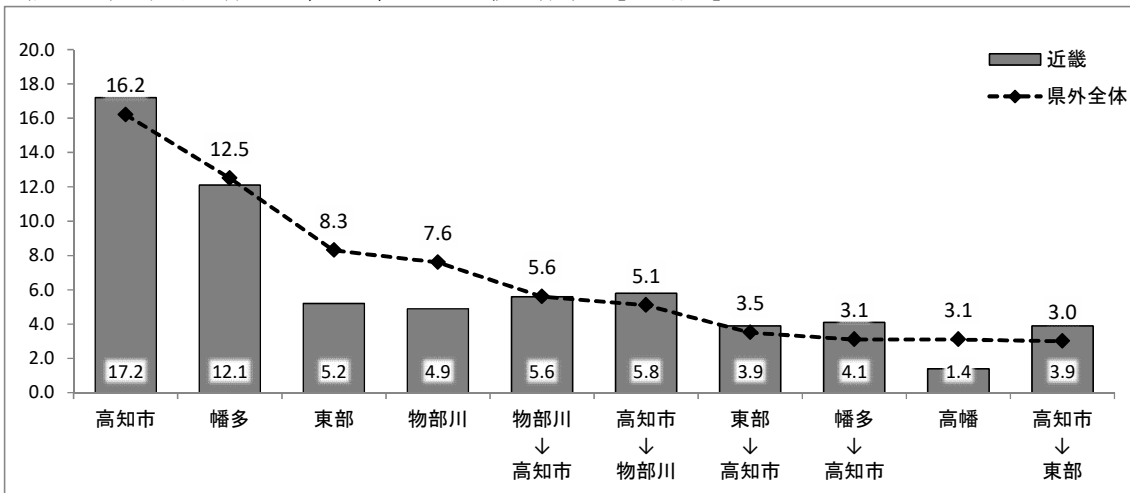
他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→物部川」が 5.8%と最も多く、次いで、「物部川→高知市」が 5.6%、「幡多→高知市」が 4.1%、「東部→高知市」が 3.9%と続いております。「高知市」と「物部川」、「幡多」、「東部」の各エリアを組み合わせた周遊ルートが上位を占めている。

(図 3-5) 周遊ルート of 玄関口 (%) [近畿]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 39.4% と最も多く、次いで、「幡多」が 20.7%、「物部川」が 15.2%、「東部」が 14.6%、「高幡」が 5.9%、「仁淀川」が 3.7%、「嶺北」が 0.4% と続いている。

(図 3-6) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [近畿]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って少なくなっている。

3-1-4. 中国

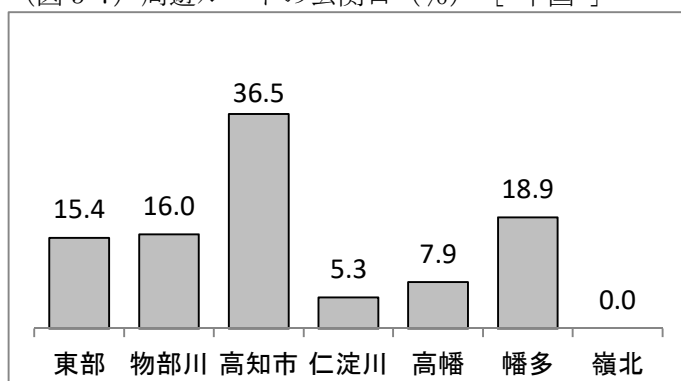
(表 3-4)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [中国]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					47	14.8%
幡多					42	13.2%
高知市	→	物部川			31	9.7%
東部					25	7.9%
物部川	→	高知市			23	7.2%
物部川					16	5.0%
高知市	→	東部			16	5.0%
東部	→	高知市			13	4.1%
高幡					10	3.1%
高知市	→	幡多			9	2.8%

中国ブロックの旅行者 318 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 14.8%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 13.2%、「高知市→物部川」が 9.7%、「東部」のみが 7.9%と続いている。

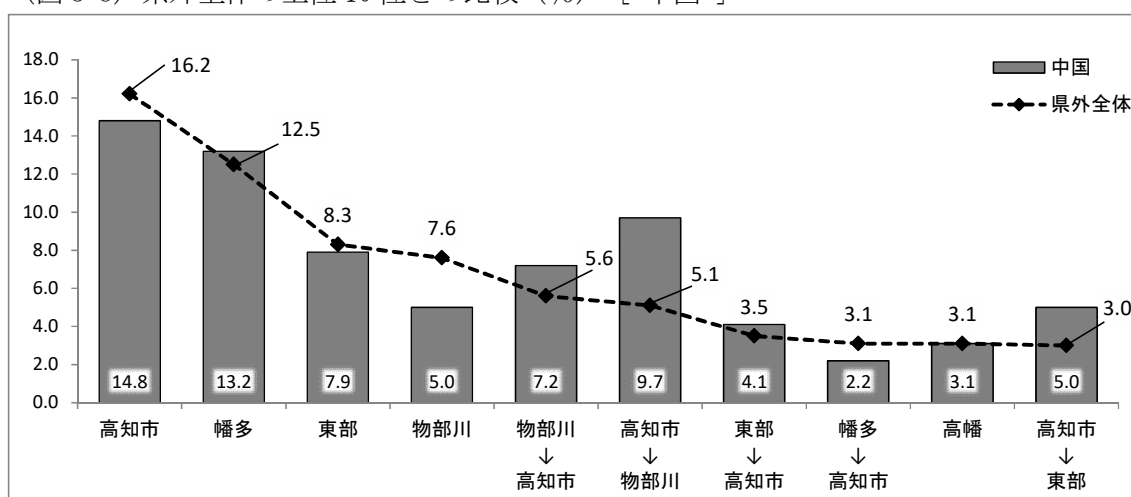
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→物部川」が 9.7%と最も多く、次いで、「物部川→高知市」が 7.2%、「高知市→東部」が 5.0%、「東部→高知市」が 4.1%と続いており、「高知市」と県東部のエリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

(図 3-7) 周遊ルート of 玄関口 (%) [中国]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 36.5% と最も多く、次いで、「幡多」が 18.9%、「物部川」が 16.0%、「東部」が 15.4%、「高幡」が 7.9%、「仁淀川」が 5.3% と続いている。

(図 3-8) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [中国]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「物部川」と「高知市」を組み合わせた周遊ルートと、「高知市→東部」が目立って多くなっている。その一方で、「高知市」のみと「物部川」のみが目立って少なくなっている。

3-1-5. 関東

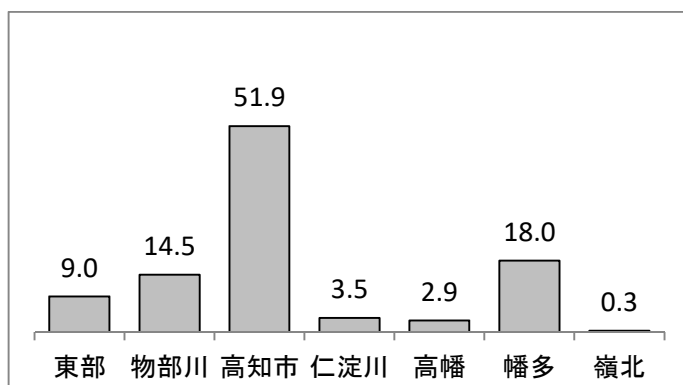
(表 3-5)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [関東]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					85	24.6%
幡多					25	7.2%
幡多	→	高知市			22	6.4%
高知市	→	幡多			19	5.5%
物部川					18	5.2%
物部川	→	高知市			17	4.9%
高知市	→	東部			12	3.5%
高知市	→	物部川			10	2.9%
高知市	→	仁淀川			10	2.9%
東部	→	高知市			9	2.6%

関東ブロックの旅行者 345 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 24.6%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 7.2%、「幡多→高知市」が 6.4%、「高知市→幡多」が 5.5%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「幡多→高知市」が 6.4%と最も多く、次いで、「高知市→幡多」が 5.5%、「物部川→高知市」が 4.9%、「高知市→東部」が 3.5%と続いており、「幡多」と「高知市」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

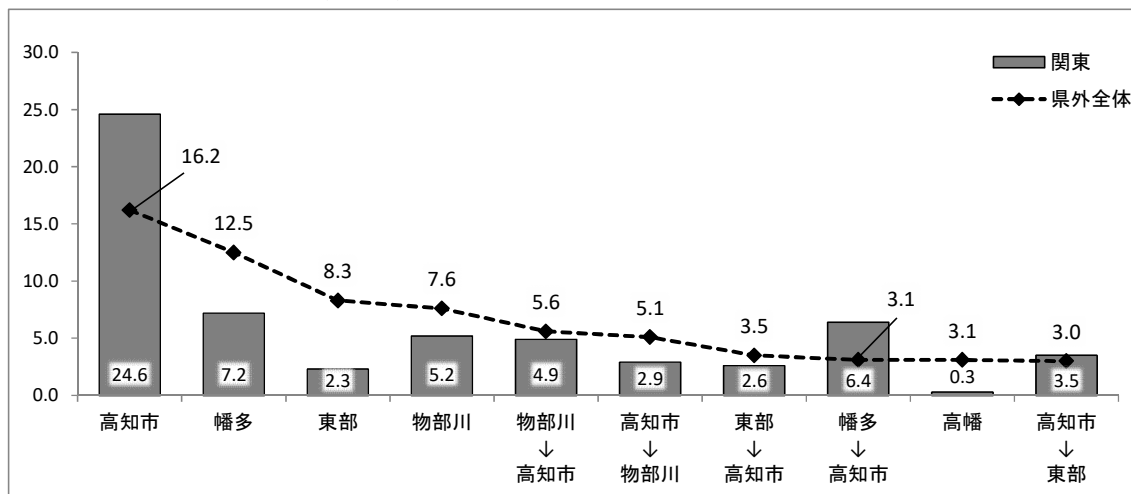
(図 3-9) 周遊ルート of 玄関口 (%) [関東]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 51.9%と最も多く、次いで「幡多」が 18.0%、「物部川」が 14.5%、「東部」が 9.0%、「仁淀川」が 3.5%、「高幡」が 2.9%、「嶺北」が 0.3%と続いている。

なお、「高知市」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-10) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [関東]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートと「幡多→高知市」が県外全体を大きく上回っている。その一方で、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートは目立って少なくなっている。

3-1-6. その他（北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外）

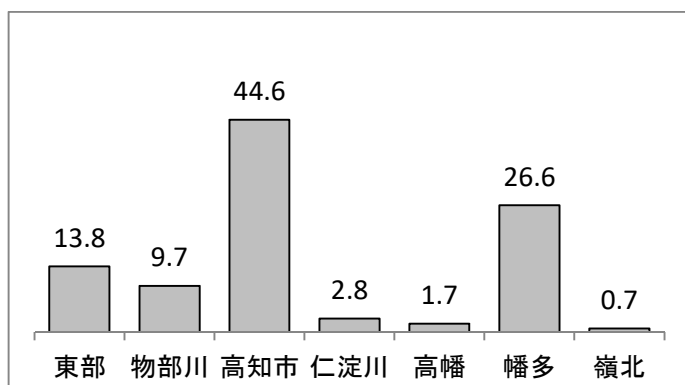
(表 3-6)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [その他]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					73	25.3%
幡多					36	12.5%
高知市	→	幡多			20	6.9%
幡多	→	高知市			19	6.6%
高知市	→	物部川			14	4.8%
物部川	→	高知市			13	4.5%
東部	→	高知市			12	4.2%
東部					9	3.1%
物部川					8	2.8%
東部	→	高知市	→	幡多	6	2.1%

その他 5 ブロックの旅行者 289 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 25.3%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.5%、「高知市→幡多」が 6.9%、「幡多→高知市」が 6.6%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 6.9%と最も多く、次いで、「幡多→高知市」が 6.6%、「高知市→物部川」が 4.8%、「物部川→高知市」が 4.5%と続いており、「高知市」と「幡多」、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

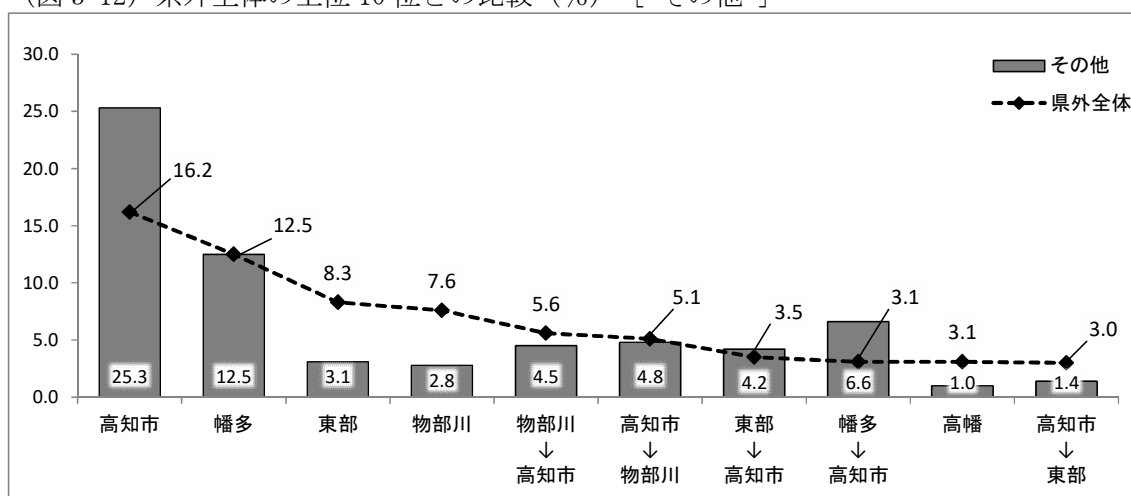
(図 3-11) 周遊ルートの玄関口 (%) [その他]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 44.6%と最も多く、次いで、「幡多」が 26.6%、「東部」が 13.8%、「物部川」が 9.7%、「仁淀川」が 2.8%、「高幡」が 1.7%、「嶺北」が 0.7%と続いている。

なお、「幡多」と「嶺北」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176: 参考 1)。

(図 3-12) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [その他]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートが県外全体を大きく上回っており、「幡多→高知市」も多くなっている。その一方で、「東部」のみ、「物部川」のみが県外全体を大きく下回っている。

3-1-7. 高知県

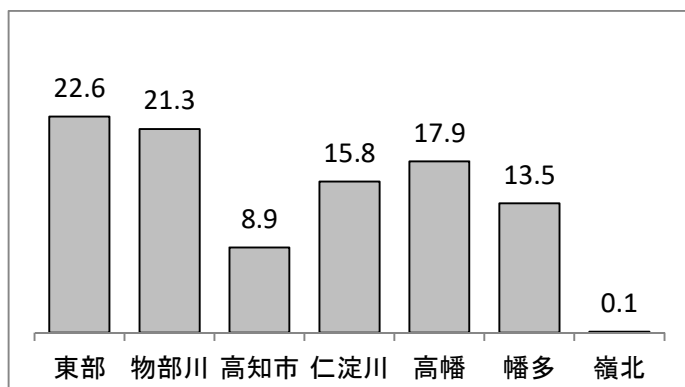
(表 3-7)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [県内]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					286	21.3%
物部川					262	19.5%
高幡					216	16.1%
仁淀川					199	14.8%
幡多					164	12.2%
高知市					108	8.0%
高幡	→	幡多			19	1.4%
幡多	→	高幡			13	1.0%
物部川	→	東部			11	0.8%
東部	→	物部川			10	0.7%

県内旅行者 1,343 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 21.3%と最も多く、次いで、「物部川」のみが 19.5%、「高幡」のみが 16.1%、「仁淀川」のみが 14.8%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位まで、割合では 91.9%と大半を占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高幡→幡多」が 1.4%と最も多く、次いで、「幡多→高幡」が 1.0%、「物部川→東部」が 0.8%、「東部→物部川」が 0.7%と続いており、隣り合ったエリアを組み合わせた周遊ルートが多いものの、その割合はいずれも非常に少なくなっている。

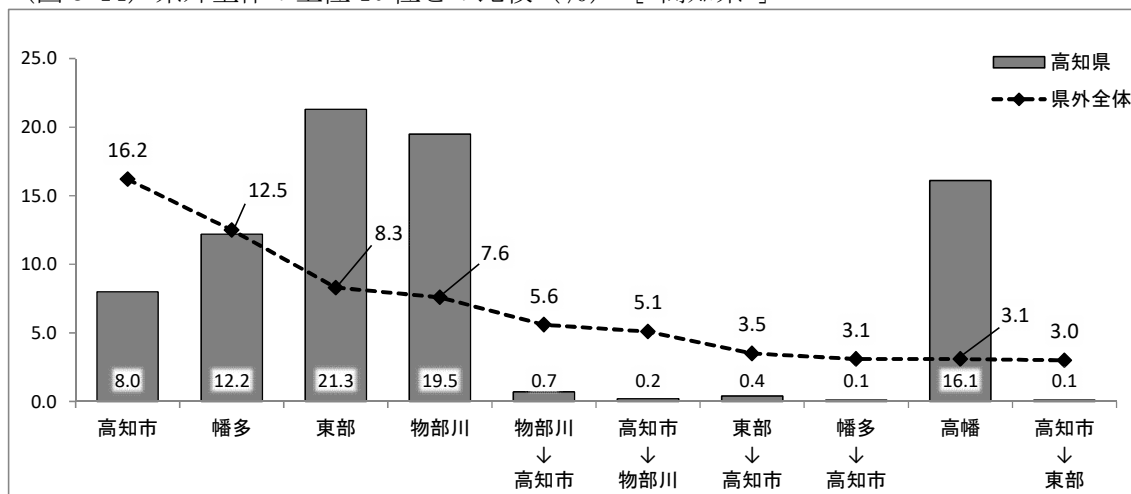
(図 3-13) 周遊ルートの玄関口 (%) [高知県]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が22.6%と最も多く、次いで、「物部川」が21.3%、「高幡」が17.9%、「仁淀川」が15.8%、「幡多」が13.5%、「高知市」が8.9%、「嶺北」が0.1%と続いている。

なお、「東部」、「仁淀川」、「高幡」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176: 参考 1)。

(図 3-14) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [高知県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「物部川」、「高幡」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが県外全体を大きく上回っており、その反面、「高知市」のみが大きく下回っている。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートも県外全体と比べ、目立って少なくなっている。

3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

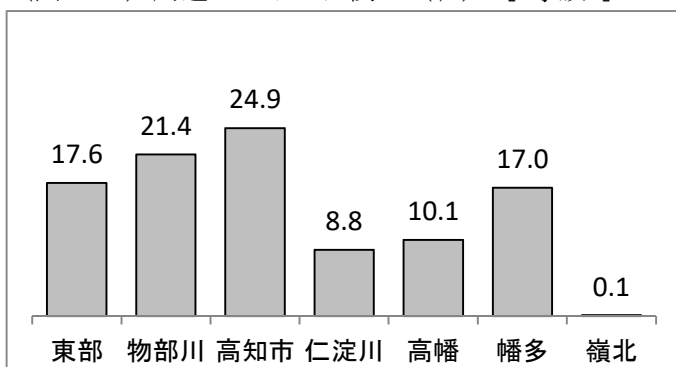
(表 3-8) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [家族]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
物部川					364	13.6%
幡多					326	12.2%
高知市					321	12.0%
東部					317	11.9%
高幡					193	7.2%
仁淀川					164	6.1%
物部川	→	高知市			123	4.6%
高知市	→	物部川			110	4.1%
東部	→	高知市			71	2.7%
高知市	→	東部			57	2.1%

家族旅行 2,674 組の周遊ルートを見ると、「物部川」のみで観光を終える割合が 13.6%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.2%、「高知市」のみが 12.0%、「東部」のみが 11.9%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 4.6%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.1%、「東部→高知市」が 2.7%、「高知市→東部」が 2.1%と続いており、「高知市」と県東部のエリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

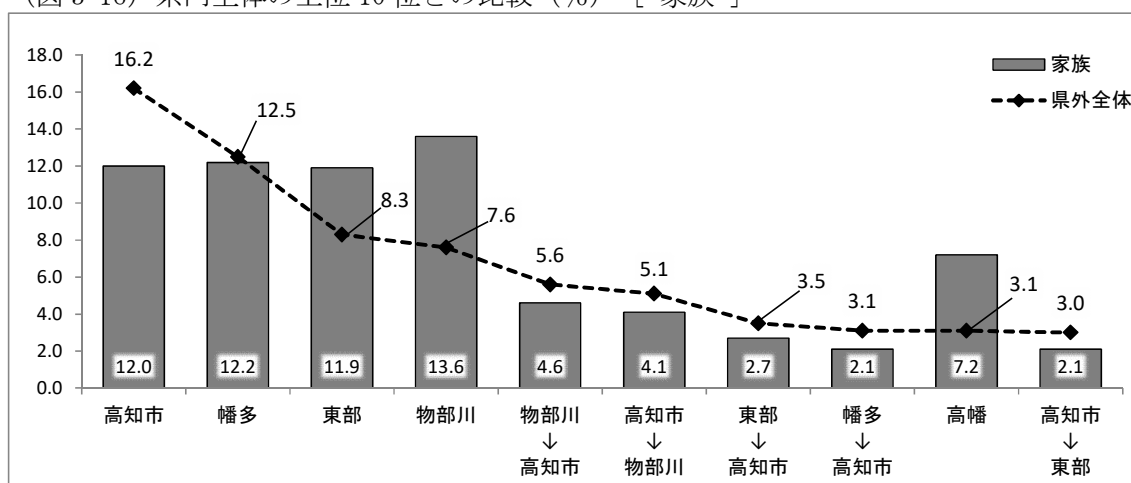
(図 3-15) 周遊ルート of 玄関口 (%) [家族]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 24.9% と最も多く、次いで、「物部川」が 21.4%、「東部」が 17.6%、「幡多」が 17.0%、「高幡」が 10.1%、「仁淀川」が 8.8%、「嶺北」が 0.1% と続いている。

なお、「物部川」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-16) 県内全体の上位 10 位との比較 (%) [家族]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「物部川」、「高幡」の単一エリアで観光を終える割合が県外全体を大きく上回っている。その一方で、「高知市」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが少なくなっている。

3-2-2. 友人・知人

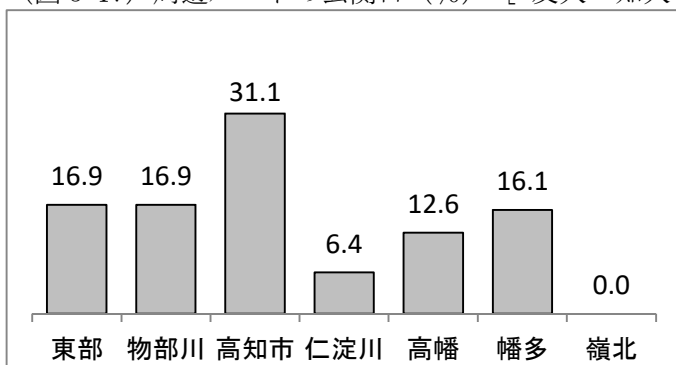
(表 3-9) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [友人・知人]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					107	17.1%
東部					74	11.8%
幡多					66	10.5%
物部川					60	9.6%
高幡					56	8.9%
仁淀川					24	3.8%
物部川	→	高知市			23	3.7%
高知市	→	物部川			21	3.3%
幡多	→	高知市			18	2.9%
東部	→	高知市			17	2.7%

友人・知人との旅行者 627 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 17.1%と最も多く、次いで、「東部」のみが 11.8%、「幡多」のみが 10.5%、「物部川」のみが 9.6%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 3.7%と最も多く、「高知市→物部川」が 3.3%、「幡多→高知市」が 2.9%、「東部→高知市」が 2.7%と続いており、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが多くなっている。

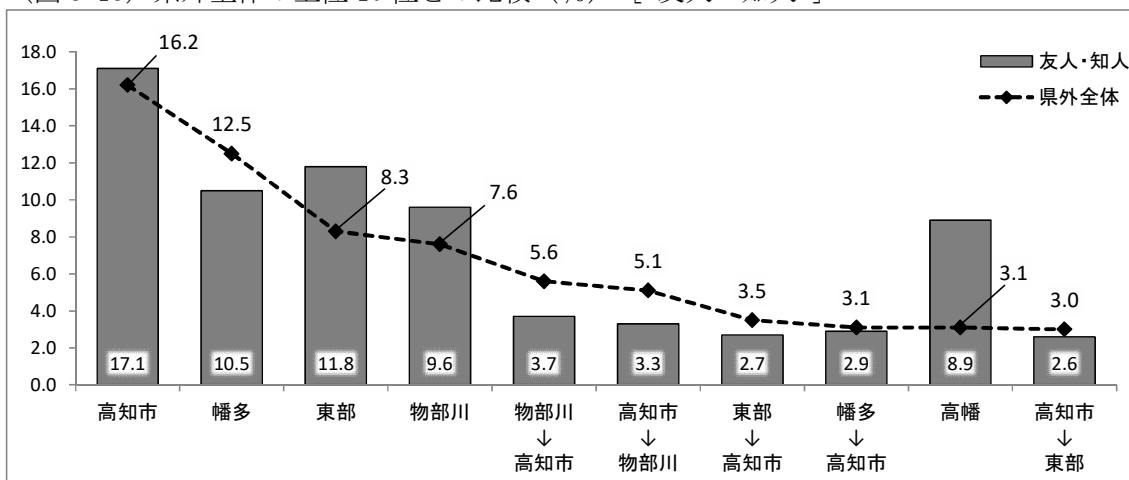
(図 3-17) 周遊ルートの玄関口 (%) [友人・知人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 31.1% と最も多く、次いで、「東部」と「物部川」がそれぞれ 16.9%、「幡多」が 16.1%、「高幡」が 12.6%、「仁淀川」が 6.4% と続いている。

なお、「高幡」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-18) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [友人・知人]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「幡多」のみをのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが県外全体を上回っている。その一方で、「幡多」のみ、「物部川」や「高知市」を組み合わせた周遊ルートが少なくなっている。

3-2-3. 団体

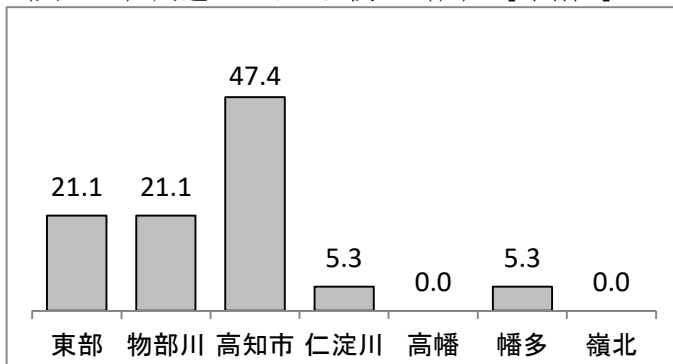
(表 3-10) 周遊ルート上位 8 位 (件・%) [団体]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	13	34.2%
東部	5	13.2%
物部川	3	7.9%
物部川 → 高知市	3	7.9%
仁淀川	2	5.3%
東部 → 高知市	2	5.3%
高知市 → 幡多	2	5.3%
(※対象多数のため略)	1	2.6%

団体旅行 38 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 34.2%と最も多く、次いで「東部」のみが 13.2%、「物部川」のみと「物部川→高知市」がそれぞれ 7.9%と続いている。

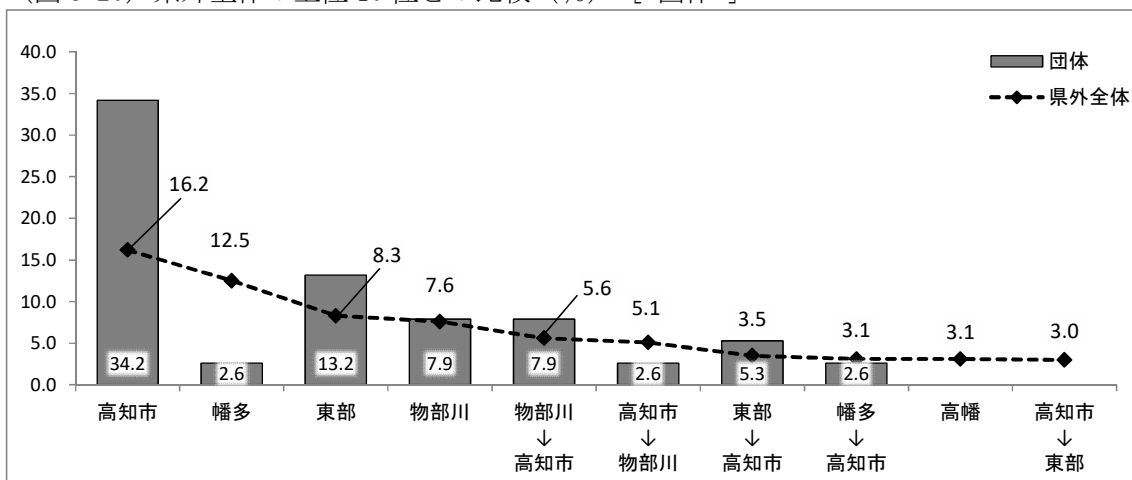
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 7.9%と最も多く、次いで、「東部→高知市」と「高知市→幡多」がそれぞれ 5.3%と続いている。

(図 3-19) 周遊ルートの玄関口 (%) [団体]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が47.4%と最も多く、次いで、「東部」と「物部川」がそれぞれ21.1%、「仁淀川」と「幡多」がそれぞれ5.3%と続いている。
 なお、「高知市」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考1)。

(図 3-20) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [団体]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみや「東部のみ」が目立って多くなっている。

3-2-4. 一人

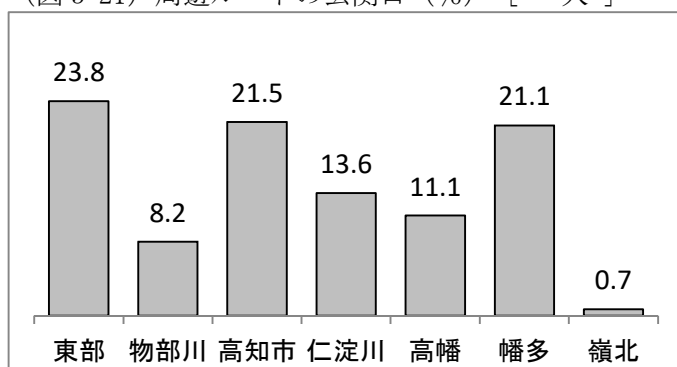
(表 3-11) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [一人]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	人数	割合
東部					105	17.2%
幡多					98	16.1%
高知市					86	14.1%
仁淀川					68	11.1%
高幡					44	7.2%
物部川					30	4.9%
高幡	→	幡多			17	2.8%
高知市	→	幡多			13	2.1%
幡多	→	高知市			10	1.6%
幡多	→	高幡			10	1.6%

一人旅の旅行者 610 人の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 17.2% と最も多く、次いで、「幡多」のみが 16.1%、「高知市」のみが 14.1%、「仁淀川」のみが 11.1%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高幡→幡多」が 2.8% と最も多く、次いで、「高知市→幡多」が 2.1%、「幡多→高知市」と「幡多→高幡」がそれぞれ 1.6% と続いている、「幡多」と他エリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

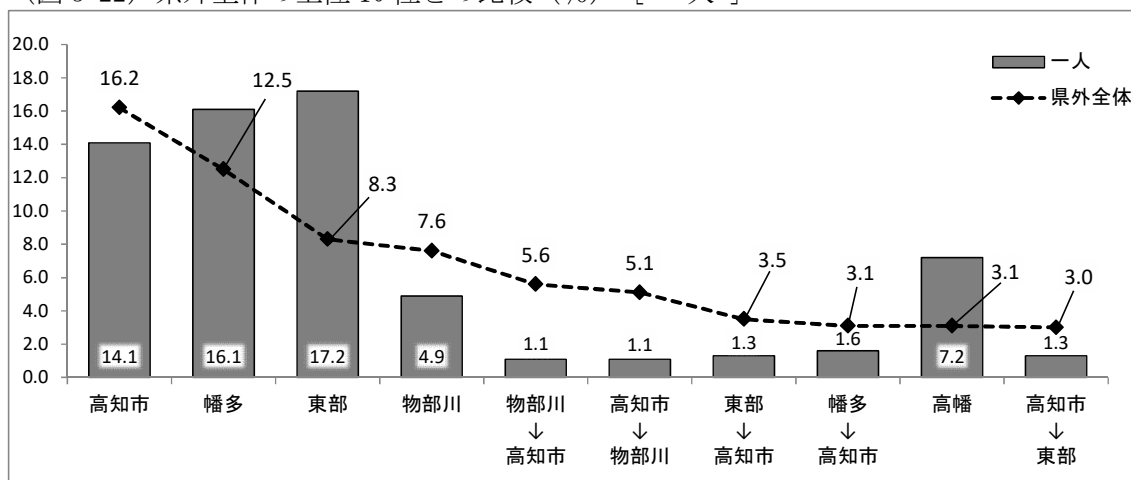
(図 3-21) 周遊ルートの玄関口 (%) [一人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が 23.8%と最も多く、次いで、「高知市」が 21.5%、「幡多」が 21.1%、「仁淀川」が 13.6%、「高幡」が 11.1%、「物部川」が 8.2%、「嶺北」が 0.7%と続いている。

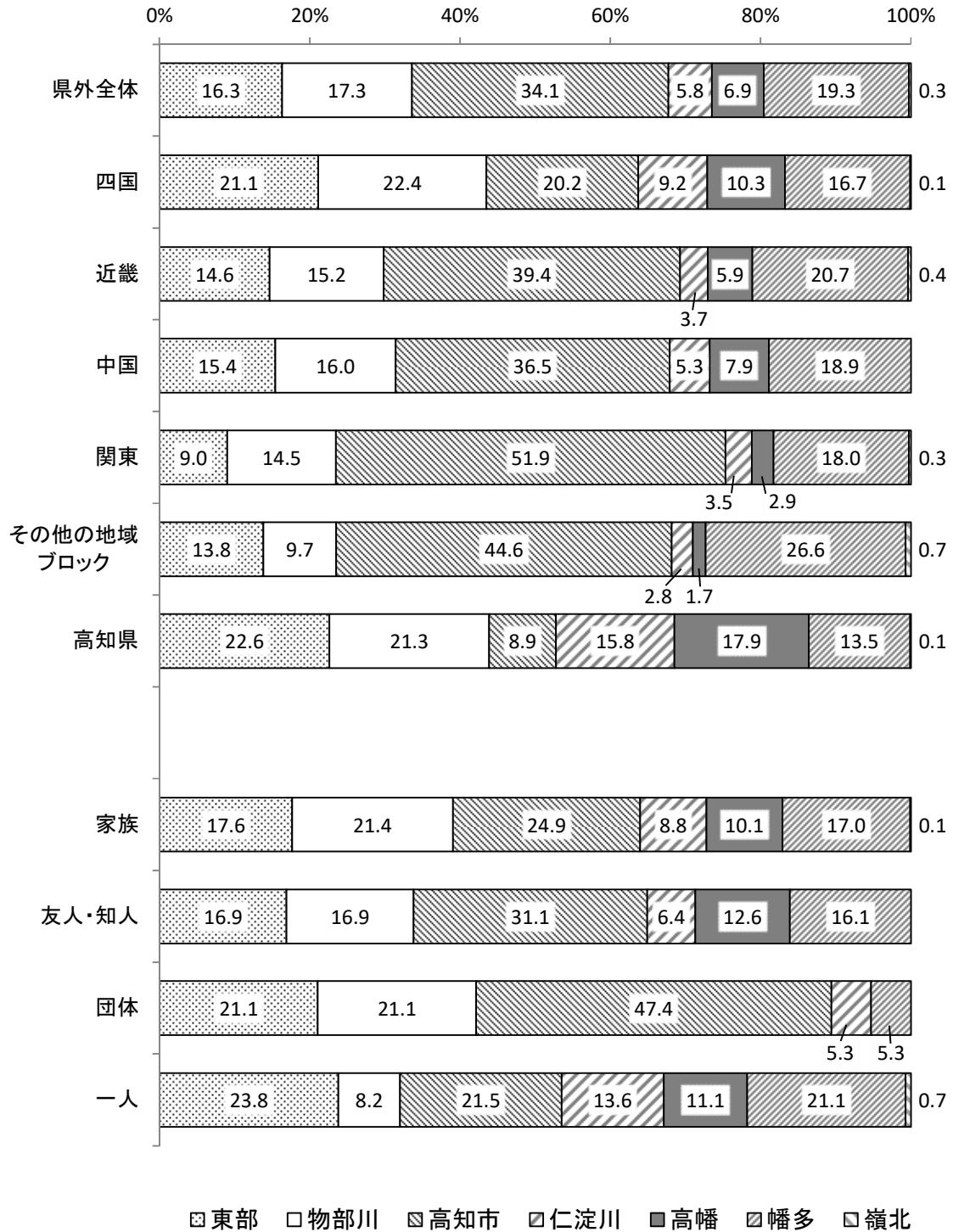
なお、「東部」、「仁淀川」、「幡多」、「嶺北」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-22) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [一人]

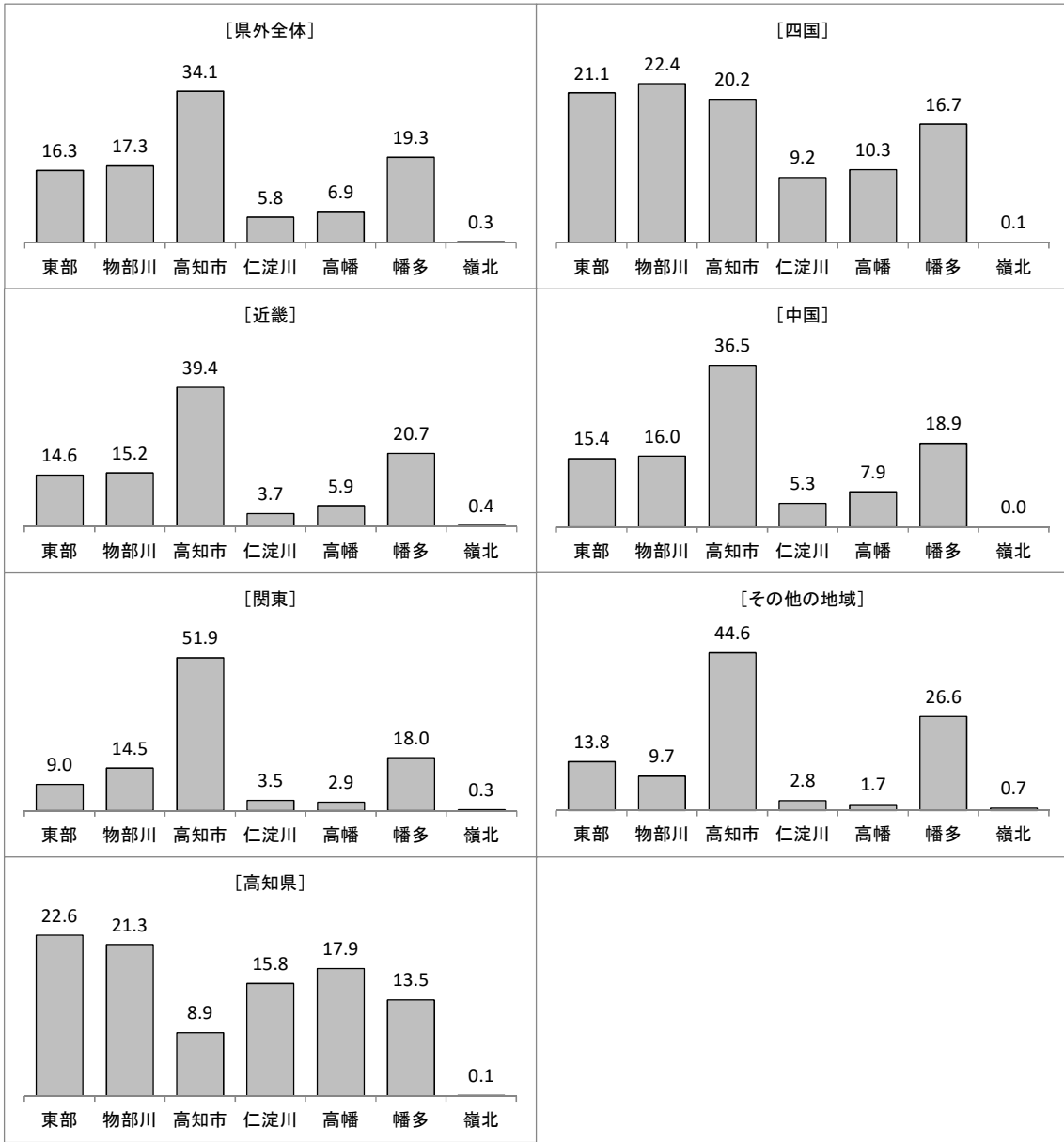


県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「幡多」、「高幡」の単一エリアで観光を終える割合が県外全体を大きく上回っている一方で、「高知市」のみと「物部川」のみが大きく下回っており、エリアによって傾向に差が見られる。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが目立って少なくなっている。

(参考 1) 発地ブロック別・周遊旅行形態別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考2)発地ブロック別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考 3) 旅行形態別周遊ルートの玄関口 (%)

